

ボランティア OSAKA



第 11 号

'97/AUTUMN

●発行●

(福)大阪府社会福祉協議会
大阪府ボランティアセンター

特集

REPORT

ふれ愛ぴっく大阪
ふれ愛ひろば

ふれ愛びつく大阪

ときめいて今、はばたいて未来 「ふれ愛びつく大阪」盛大に開催



クローズアップチャレンジャー



11月2日（日）～3日（祝）の二日間、澄みきった秋空の下で第33回全国身体障害者スポーツ大会「ふれ愛びつく大阪」が盛大に開催されました。開会式場となった大阪市長居陸上競技場には、これまで最高の2400人の選手を含む5万7000人が参加。臨席された皇太子ご夫妻から、「互いに友情をはぐくみ、楽しい思い出をつくる」と期待します」とのご挨拶をいただきました。

開会式典は、大阪市立醫学校の生徒・児童ら約70人の鼓隊が大会旗を先導し、大阪府内の電動車椅子サッカーチームに所属する10人が炬火を掲げて登場。会場の大きな拍手の中、トーチを引き継いだ2人の選手により炬火台に火が点され、二日間の熱戦の火

ぶたが切られました。午後からは長居公園・なみはやドーム・久宝寺緑地の3会場に分かれて、アーチエリー、水泳、陸上、バレーボールなどの種目に、選手たちは日頃鍛えた力を思う存分発揮。スタンドからの大きな声援と拍手のなか、各会場では好記録も続出し、見応えのある熱戦がくり広げられました。そして閉会式では、モッピー君から次回の神奈川大會のマスコット「かなべえ君」へのバトンタッチがあり、選手たちは再会を約して二日間の大会は無事終了。こうして、例年にも増して多くのボランティアが活躍し、全国の仲間が友情をはぐくんだ「ふれ愛びつく大阪」は成功裡に、二日間の幕を閉じました。



◆◆特集◆◆

ボランティアが支え、「素敵な出会い」を楽しんだ

ふれ
愛
ひ
ろ
ば

長居・なみはや・久宝寺

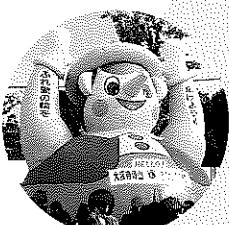
競技が行われた3会場には、隣接して「全国から来阪された選手・役員の皆さんと大阪府民が交流する場」として「ふれ愛ひろば」が開設されました。3つの「ふれ愛ひろば」とも「ふれ愛スマート」が設けられ、ここで「ンサート」や漫才、河内音頭などが賑やかにくり広げられました。また飲食コーナー、授産施設などの展示・販売コーナーなども設けられ、来場者は一日間、競技とともに「ふれ愛ひろば」も堪能。全国から集まつた選手たちと、さまざまな友情・連帯・ふれあいの輪を広げました。また競技場と同じく、ここでも数多くのボランティアが大活躍。大阪府社会福祉協議会も、門真市社会福祉協議会・八尾市社会福祉協議会などと一緒に、なみはやドーム・久宝寺緑地の「ふれ愛ひろば」を運営しましたが、ここでの主役は、もちろん大阪府内各地から集まった数多くのボランティアたち。そんな皆さんに支え、3つの広場の「ふれあいシン」をご紹介していきましょう。



ふれ愛ひろば

長居

アーティストグループのハートフルな演奏、 再現された「道頓堀」で気分も最高！



大阪市内のボランティアピューローからも、多くの皆さんが会場の美化活動に従事



ソフトボールの選手として出場した丸山貴一郎（三重県）さんと、ボランティアの藤見佳子さん（近畿社会福祉専門学校）。ふれ愛ひろばで出会い、すっかり仲良しに

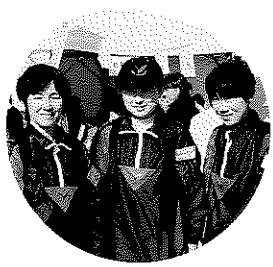
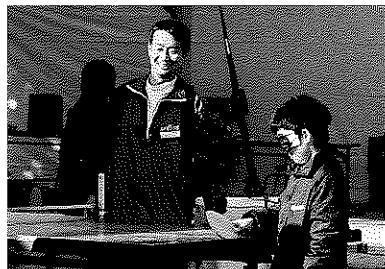
陸上競技、卓球、アーチェリーが行われた長居公園の「ふれ愛ひろば」は、大きく4つのゾーンに分かれて多彩な催しがくり広げられました。まず初日、天王寺幼稚園のかわいい子どもたちの太鼓演奏で幕を開けた「ふれ愛ステージ」では二日間、華麗な車椅子ダンスや素敵なライブ「コンサート」、日本の芸人さんの漫才、賑やかな河内音頭などが次々に演じられ、広場全体をお祭り気分に。なかでも、シャンソンをはじめ大阪で活躍する障害者のアーティストグループのパワフルかつハートフルな演奏には会場も大いに盛り上がり、ステージと一緒になつた交流の輪が広がりました。

「ふれ愛スクエア」では食い道楽のシンボル「道頓堀」を再現し、来場者の皆さんは大阪の味を堪能。また、ここでは大阪の観光インフォメーション、企業のファインソロピー（社会貢献）を紹介するコーナー、自動車をメインとした数々のバリアフリー製品の展示コーナーも設けられ、ここの多くの来場者が賑わいました。

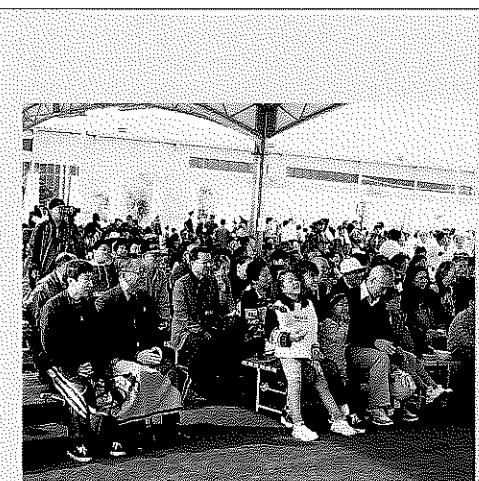
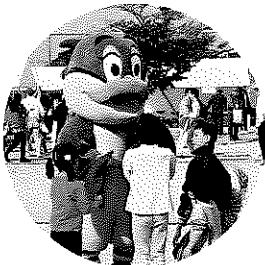
「ふれ愛ストリート」は、福祉作業所や団体の出店が並ぶショッピングゾーン。手づくりの衣類や装飾品、食べ物などが安価で手に入るとあって、約50のお店はいずれもおお賑わい。大きな声で客を呼び込む声も飛び交い、ここでもさまざまなおあいシーンが見られました。

そして「ふれ愛夢ひろば」では、木工教室や丸太切り、手話・点字教室や障害者スポーツを紹介するコーナーが設けられ、子どもたちも大はしゃぎ。なかでもビームライフルコーナーは順番待ち行列ができるほどの賑わいぶり。そして最後はステージでの上田正樹さんの「ンサート」で幕を閉じた長居公園の「ふれ愛ひろば」。2日間の来場者は、約6万人にのぼりました。

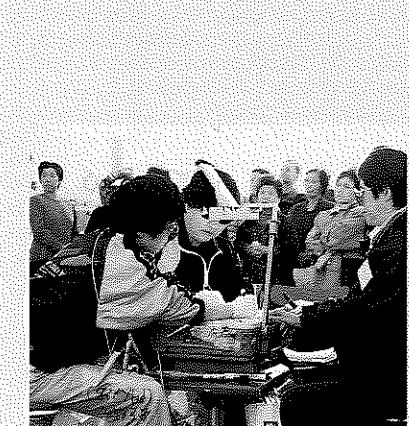
◆◆特集◆◆ ふれ愛ひろば



手話ボランティアで活躍した、
吹田市「風」の富山敦子さんと、
茨木市「のばら」の萩野勝恵さん、
奈良平照代さん



おなじみ「シャンテ」と「さわりの仲間たち」。素敵なステージに広がる感動の輪



97福祉ちよつと体験作文コンクールで優秀賞に輝いた小学生たち





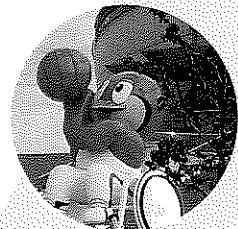
大阪ならではの味覚と、 ふれあいいっぱいのステージを大満喫



手作りの伝承玩具に子どもたちも興味津々



モッピーグッズは選手から子どもたちまで大人気



「スーパー・ボールすくい」はいつも子どもたちで
いっぱい



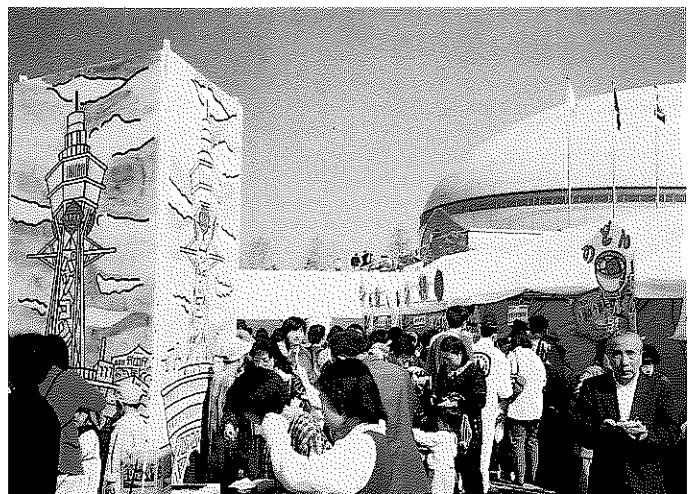
辻学園調理技術専門学校
からは豚まんと特製スープをサービス

水泳・バレー・ボール・車椅子バスケットボール
が行われたなみはやドームの「ふれ愛ひろば」は、
メイン会場となる南側テニスコート予定地と、ド
ーム入口2階（カフェテリアと車椅子展示体験コ
ーナー）の2カ所で催されました。

門真市社会福祉協議会・西村美代子会長の開会
宣言で「ふれ愛ステージ」がスタート。手話落語
やものまね、吉本出張ライブの漫才、地元門真市
のだんじり、車椅子ダンスなど多彩なプログラム
が繰り広げられました。河内家菊水丸さんの河内
音頭は、名調子に踊りの飛び入りも出るほどの盛
り上がり。最終日トドリを務めた「シャンテ」のライ
ブも、表現力豊かな手話ボーカルが勇気と力強さ
を歌い上げ、すべての参加者に大きな感動の渦を
広げました。

また、競技を終えてお腹をすかせた選手や子どもたち、ボランティアの人々も加わって、長蛇の行列ができていたのが「じゃんじゃん横丁」の屋台。たこ焼き、いか焼き、お好み焼きと、勢揃いした大阪ならではの味覚が大人気でした。琴の演奏で優雅な雰囲気を醸し出していた「やすらぎ」、「なまはや」も抹茶と和菓子が無料でいただけるとあって大賑わい。各地の授産所が手作り品を出展した「ふれ愛ストリート」でも、売り切れ続出。「もっと用意しておけばよかったです」の声があちこちで聞かれました。そして「巨大キャンバスアート」には、地元門真市の小学生たちが挑戦。全部で80枚のパネルをみんなの力で大きな絵に仕上げ、会場を鮮やかに飾りました。2日間で2万人の来場者となつた、なみはやドーム「ふれ愛ひろば」。秋晴の空の下、たくさんの笑顔が溢れ、ふれあいの輪があちこちで生まれていました。

◆◆特集◆◆ ふれ愛ひろば



「じょんじょん横丁」には紙製の「通天閣」まで出現！



千葉から参加の水泳選手。
「ハンディを持ってから人生が100倍広がったの」



和菓子の補充が追いつかないほど賑わった野点コーナー



選手たちもふれ愛ひろばでほっと一息

ふれ愛
ステージ

- A man in a kimono performing on stage.
- A woman singing into a microphone.
- A man and a woman singing into microphones.
- A band performing on stage.
- A person in a wheelchair dancing.
- Two people playing a game or activity together.

ハーツ大会
「つく大阪」

桂福因治さんの手話落語
「居酒屋」にみんな大笑い

どんきほーて

まるむし商店

「害者スポーツ大会
「つく大阪」

エンディングはシャンテのライブで最高潮

華麗な「ジェネシス」の車椅子ダンス

菊水丸さんは「横山やすし物語」を熱唱

「いきいき歌体操」は体と口を思いっきり動かして

わき目もふらす働く要約筆記の
ボランティア



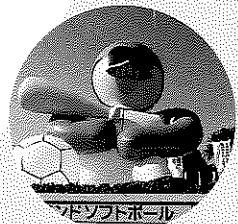
手話コーラス、パントマイム、動物園…、会場に響きわたる子どもたちの歓声



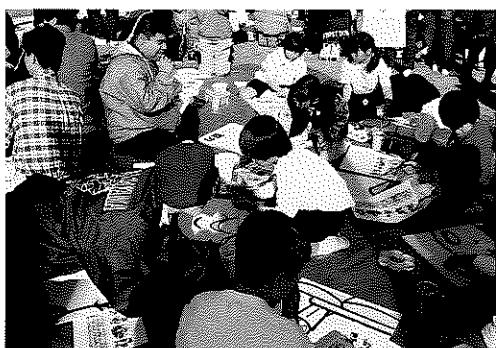
小さな会場はいつも満杯。ふれ愛手話教室



老人大学OBのみなさんが教える伝承おもちゃのクラフト教室。ブンブンごまや風車など、子どもより大人がハッスル



ソフトボール

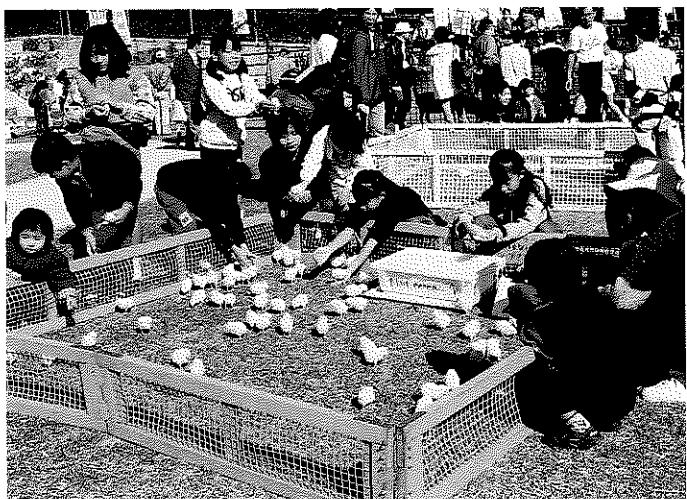


ふれ愛美術展では視覚の障害に関わらずみんなが楽しめる「手でさわる絵本」「点字絵本」が人気

久宝寺緑地で行われた「ふれ愛ひろば」のグランドソフトボールは、ソフトボールを基本にした視覚障害者の競技です。大阪府チーム、大阪市チームはともに第3位と健闘! ただ音をよりにプレーする競技だけに、「ふれ愛広場」ではハーティな音楽や大音響の放送はできません。その分、とてもなごやかな雰囲気でプログラムが進行し、和気あいあいとした広場となりました。

緑と青空あふれる修景広場に設けられた「ふれ愛ステージ」は、八尾市社会福祉協議会の次田三次部会長の開会宣言とともにスタート。大阪狭山市の朗読ボランティアグループ「たんぽぽ」の川口眞子さんの軽やかな司会で進められました。盲導犬指導員の田原恒二さんは盲導犬を紹介。福岡市治亭くいだおれさんの手話落語や大阪パフォーマンスグループの西尾綱巳さん・劇団北斗七星の竹林晃子さんのパントマイムなど、その見事な芸に観客も大喜び。とりわけ囁采を浴びていたのは、地元久宝寺子ども会のみんなが体をいっぱいに使つての手話「コーラス」です。2日めは「ふれ愛動物園」。ポニーの馬車に乗ったり、会場に放されたウサギやヒヨコ、ヤギやアヒルと触れ合つたりと、一日中子どもたちの歓声が絶えませんでした。常設チントでは、点字や手話を教えるふれ愛教室、老人大学OBによる伝承おもちゃのクラフト教室、さわって見る美術展、手でさわる絵本展、さをり織展、障害者作業所の展示即売ともりだくさん。グランドソフトボールの選手たちはすっかりくつろいで、地元の市民のみなさんと一緒に楽しめる広場となりました。

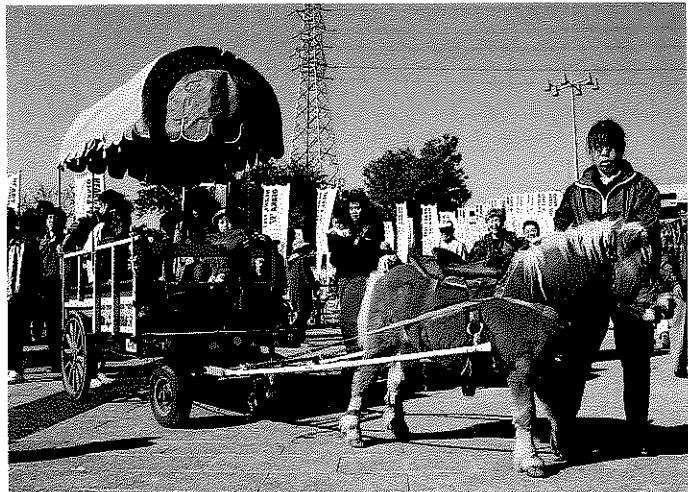
◆◆特集◆◆ ふれ愛ひろば



大東市から来た全盲の多田悟司くんは動物が大好き。ヤギにおそるおそるさわって大喜び



だれでも楽しみながら色鮮やかな手織りができる「さわり織り」の広場



2日めは「ふれ愛動物園」。場内を走るボニーの馬車



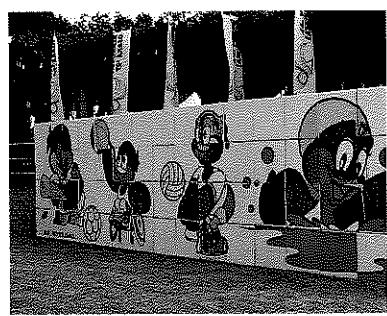
介護用のアイデア手作り商品を出品した「介護者の会・やさしい手」



辻学園調理技術専門学校によるライスコロッケの試食にはいつも長蛇の列



手話でコーラスした久宝寺小学校の子ども会のみなさん



巨大アート。ひばり障害者作業所や久宝寺地区子ども会のみなさんが描いた絵を合わせて、一枚の絵に



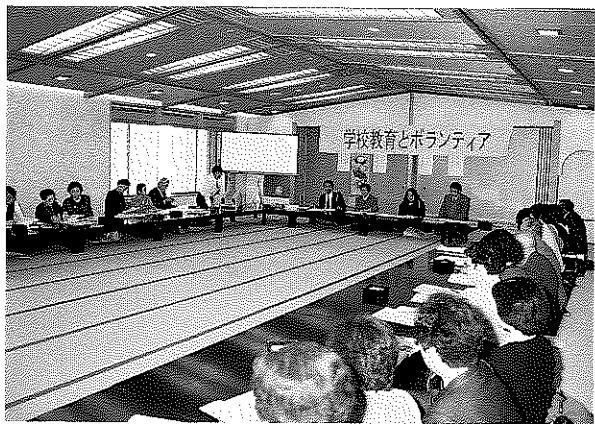
かわいい仕草が大好評。竹林晃子さんのパントマイム



福岡治亭くいだおれさんの手話によるオリジナル落語に場内は爆笑の渦

ボランティア活動の豊かな創造をめざし、連帯と交流を推進

第6回おおさかボランティアフェスティバル



テーマB 学校教育とボランティア



テーマA 介護保険を考える



テーマD 聴覚障害者とボランティア



テーマC 視覚障害者とボランティア



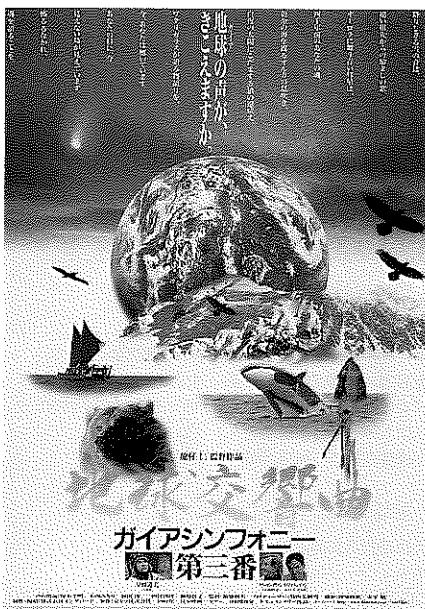
テーマE 在宅福祉活動とボランティア

「21世紀に出会い、広がる、ボランティアを」をテーマに、11月18日（火）、第6回おおさかボランティアフェスティバルが開かれました。フェスティバルは、映画会と分科会をメインに催しを展開。地域で活動しているボランティアグループのメンバーを中心に、1400人の人々が参加しました。

一方、分科会は介護保険・学校教育・視覚障害・聴覚障害・在宅福祉活動・介護用品と自助具・精神保健・地球環境の8つのテーマに分かれ、KKR HOTEL OSAKAと青少年会館会議室を会場に実施。ボランティア活動の現状と内容、さまざまな制度やサービスの展開を踏まえながら、これからボランティア活動が果たす役割と課題について、真剣な話し合いが進められました。

フェスティバルではその他、共同作業所

メインの催しの一つ、映画会では「地球交響曲ガイアシンフォニー・第三番」を上映。これは、昨年の全国ボランティアフェスティバルで上映された第一番・第二番に続くもので、「大阪で初公開」とあって、会場の大坂府立青少年会館文化ホールには大勢の人が詰めかけました。写真家・宇宙物理学者など3人が地球の美しさ・環境保護の大切さを語るオムニバス形式で進められるこの映画は、素晴らしい映像や音楽をふんだんに採用。「地球の偉大さに感動した」「地球の心が分かるような気がした」など、上映後、さまざまな感想が寄せられていました。





テーマF 手作り介護用品・自助具とボランティア



◆作品・展示コーナー



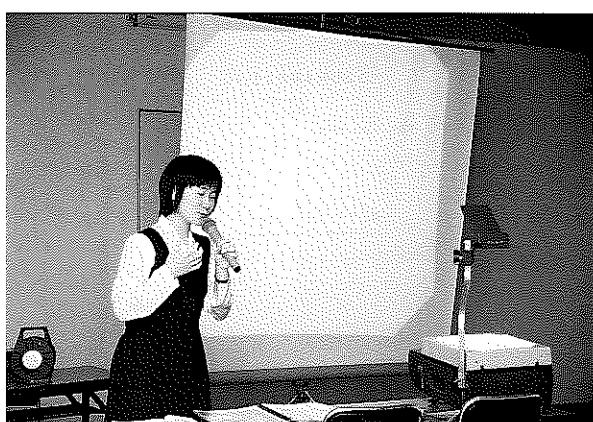
◆相談・情報コーナー



テーマG 精神保健とボランティア



◆自然・環境コーナー



テーマH 地球環境とボランティア

◆大阪府社会福祉大会
<同時開催>



などで働く人々の作品の展示・即売を行う「ボランティア作品・展示」、「自然環境の様子などをパネルで展示了した「自然環境コーナー」、ボランティア活動の相談に応する「ボランティア相談・情報コーナー」を設置。とくに「ボランティア相談・情報コーナー」では、来年1月からインターネット・パソコン通信などでスタートする「大阪ボランティア情報ネットワーク」のデモンストレーションも行われ、人々の関心を集めました。

なお、フェスティバルに先立ち、福祉増進に取り組んだ人々・団体を表彰する大阪府社会福祉大会も開催。オープニングではアコーディオン演奏と車椅子ダンスのジョイントが行われ、拍手喝采を浴びています。

ボランティアフェスティバル分科会



学校教育とボランティア

思つた以上?に参加者が多く、関係者も一安心だった「学校教育とボランティア」の分科会は、特に行政やボランティアの参加が目立ちました。また、学校や地域、社協がそれぞれの取り組み事例を通して、参加者が、地域に戻って実践できるヒントを持つて

テーマB

●学校教育とボランティア

お茶会でなごやかに交流

帰つてもらおうと進められました。

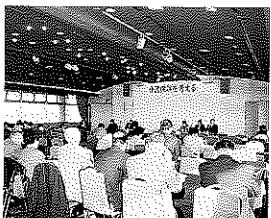
発題者からの発表のあと、会場が和室ということもあり、取り組みの中でも紹介のあった「お茶会」を行いました。

●聴覚障害者とボランティア

互いに支え合い、交流する活動を実感

第一部は、大阪聴力障害者協会、手話対策部長の島田二郎さんによる講演でした。聴覚障害とは、「見えない障害」であるため周り

の理解を得にくく、という表現、口話、空書の読み取りを参加者で行いました。分科会を通して、「ボランティア」とは、お互いに支えあうものであり、聴覚障害者と交流しながら活動していくものだと、改めて実感できる機会となりました。



授黒田研二先生からの助言が行われました。参加者が35名と少なかつたにもかかわらず、積極

今後、わが国が超高齢社会を迎えるようとしている現在、私たちがもっと関心を持ち、参加していくことの重要性を感じました。



者お二人から視覚喪失の体験とその克服に至るまでの苦闘、それを支えたボランティアとの出

テーマA

●介護保険を考える

活発な質疑応答を展開

今秋の臨時国会で審議される公的介護保険について、介護家族・福祉施設・在宅サービス現任者の立場から、介護保険制度の問題点等の発表があり、大阪府立大学教

授黒田研二先生からの助言が行われました。参加者が35名と少なかつたにもかかわらず、積極

うとしているこの保険は、現在、働いている方にとって、たくさん

方々の生の声を聞き、ボランティアとして果すべき役割を再認識しようという企画でした。やや漠然とした問題提起でしたが、提言

短か過ぎましたが、フロアからも熱心な発言が続いて、それぞれの体験や実践が報告され、障害者とボランティアがお互いに理解しあえる関係づくりの大切さが認識できただように思います。

テーマC

●視覚障害者とボランティア

関係づくりの大切さを認識

的に発表に耳が傾けられ、質問が飛び交い、あつという間の2時間でした。

西暦2000年より実施されようとしているこの保険は、現在、働いている方にとって、たくさん

害を持つ司会者から様々なニーズと実際のボランティア活動との接点についての提言と指導があります。



テー^マを掘り下げるには時間がかかるが、フロアからも熱心な発言が続いて、それぞれの体験や実践が報告され、障害者とボランティアがお互いに理解しあえる関係づくりの大切さが認識できただように思います。



要約筆記と続

きました。また、ともに学び活動している大阪聴力障害者協会、大阪手話通訳問題研究会、大阪手話サークル連絡会のほか、大阪唇手話サークル連絡会に加盟している手話サークル泉北の紹介がありました。

第二部は、交流会で、単語の手話表現、口話、空書の読み取りを参考して、分科会を通じて、ボランティア、手話、ケーション保育、ボランティア、手話、

テーマ E

● 在宅福祉活動とボランティア ボランティアは自分探しのひとつ

この分科会では、三者三様の活動をされているグループからの発表がありました。石田さんはまだ1年余りの期間ながらも、世話人本人の経験の上に立った心遣いが、現在介護している人に寄り添つた活動となり、温かいものを感じられました。

森田さんは、めずらしく男性ばかりのグループで、男性ならではの特色を生か

しながら、地域のボランティアグループとも共働しならぬ多彩な活動が行われており、これからボランティア活動を見せてもらつた感じがしました。原田さんのボランティアセンターを中心とした活動は、ボランティアが中心になつて多方面の職業の人材や施設や知恵を集め動きとなつており、感心させられました。

また、助言者の大阪府立大学教授牧里毎治先生からは、介護を多くの人のものにすることで質の向上が得られることや、男性も自然にボランティアをする時代にしたいこと、さらにボランティアとは、自分探しのひとつではないかというコメントをいただきました。



太子町社協の「ちくちく会」から、身だしなみを中心とした介護用品の紹介と、家庭的な雰囲気の楽しい活動内容の発表がありました。

その後、大阪府肢体不自由者協会の「自助具の部屋」から、体の不自由な人のために工夫された道具（自助具の部屋）などの道具を、実際に触ることができました。道

具をつくる際の、使う人に合わせた創意工夫の話からは、ボランティアの大切さ、楽しさを改めて経験できました。

テーマ F

● 手作り介護用品・自助具とボランティア 創意工夫の楽しみを経験

話がありました。

また質疑応答では、製作の基本になるのは、当事者のニーズであることを確認して分科会が終わりました。

ファスナーが背中にある継ぎのパジャマ、傘の布を使ったエプロン（ちくちく会）、片手用まな板、ボトルオープナー、片手用編み機、力の弱い人の爪切り、リーチャーなど過剰包装では、ひとつ品がこれでもかというほど紙で包裝されているのをよく見か



テーマ G

● 精神保健とボランティア 心のふれあいが活動の元気の素



活動は1対1の関わりから、作業所へ



けましたが、これは換言すれば「余分な包装が海外の森林を破壊している」というひとつ的事実です。また、多くの無知と慈悲で商品が包まれている、とも言えるでしょう。無知故に愚かな行動をとる、身近に感じられないから慈悲の心が湧かない、この理を理解し、自覚すれば無駄はなくなるはずです。

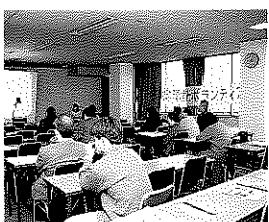
我々はすべてのものと何らかの形でつながっています。地球環境はみんなの問題なのです。前途は多難ですが、協力しあいひとつになれば、光はきっと見えてくると感じられる分科会でした。

の協力、イベント、地域ぐるみのパレーボール大会など多岐に渡っていました。どのグループのボランティアも、当事者との何気ない会話や冗談のやりとりに、心のふれあいを感じているのが印象的でした。

会場からも活発な発言があり、特に家族から、当事者は外で気遣いすぎるという議題が出されたりしました。精神保健ボランティアの難しさと、「普通」に接するとの大きさを再認識できた分科会となりました。

テーマ H

● 地球環境とボランティア 環境破壊の深刻さを痛感



「ネットワーク地球村」の小浜さんの講演を聴いて、改めて地球環境の大切さ、環境破壊の深刻さを痛感しました。その中でも特に感じられたのは、今、いかに無駄が多いかということです。たとえば、デパート

の協力、イベント、地域ぐるみのパレーボール大会など多岐に渡っていました。どのグループのボランティアも、当事者との何気ない会話や冗談のやりとりに、心のふれあいを感じているのが印象的でした。



サクソフォンで笑い声を表現

ノリのいいリズムに合わせ、 からだも自然にダンシング

◆金剛「コロニー」でラグタイムの演奏会を開催◆

明るく軽快なリズムに合わせ、手拍子が続く。演奏が終わるたびに熱烈な拍手。「ピュ〜」と喜びを表す口笛も飛び出す。

本場のオーケストラを楽しんでもらおうと、知的障害者の援護施設・大阪府立金剛コロニーで、寮生たちを対象にこの秋ラグタイムの演奏会が開かれた。企画したのはボランティア組織「音の語らい」。コンサートを買って出たのは「池宮正信とニューヨークラグタイムオーケストラ」の皆さんだ。

障害者・健常者が共に楽しめる音楽会を企画している「音の語らい」は、十数年前、渡辺正直・のりこ夫妻によって始められたもの。筋ジストロフィーで車椅子の生活を続けていた音楽好きの息子・剛さんのため、「自宅近くで音楽会が気軽に楽しめるよう」との思いからだった。残念ながら剛さんは7年前に亡くなつたが、その後も南大阪で数多くの音楽会を開いてきた。一方、「池宮正信とニューヨークラグタ



関係なく、すべての人に楽しむ権利がある」が信条。生きる喜び・人生への活力が沸いてくるラグタイムに親しむ機会を多くの人々に提供しようと、通常の音楽活動と並行して、ハーレムや刑務所、内戦が続くエクアドルなどさまざまなところでボランティアでの活動を行つてきた。金剛コロニーでの催しも「2日間フリー・タイムができたので、ボランティアを」という、そんな池宮さんからの申し出によるもの。さつそく渡辺さんがコロニー側に打診し、実現した。

演奏会では、「口笛吹きと彼の犬」「ミシシッピー・ラグ」など親しみやすい曲を披露。最後に「一緒に踊りましょう」という池宮さんの呼びかけに応じ、寮生たちがダンサーたちと一緒に手をつけなぎ、ホールいっぱいに楽しい踊りを繰り広げた。「からだ全体で楽しさを感じ取り、心を和ませる。音楽には言葉では表せない素晴らしい力があることを、この演奏会を通して改めて実感しました」。寮生たちの楽しそうな様子に、職員の一人はこう語っていた。

同オーケストラのリーダーである池宮さんはアメリカで活躍するラグタイムのトップピアニスト。高校時代に渡米し、大学で原子物理学を専攻していたが、音楽の道に転進した異色のミュージシャンだ。10年間、禅寺で修行。「自分にとって音楽とは何か」にこだわり続けてきた。

インテリや金持ちなど特定の人たちだけが楽しめるクラシック・コンサートのあり方には批判的で、「音楽とは人類が生み出した偉大な財産。障害の有無や貧富の差に



ダンサーもオーケストラに加わり、踊りを披露

コラボレーション・アート 「空飛ぶくじら」

をバックに大合唱

かがやきフェスティバル・イン・舞洲

障害のある人も無い人も、すべての人が共に生きる社会の実現を目指したイベント

「かがやきフェスティバル・イン・舞洲」が

10月5日、大阪北港の舞洲アリーナで開催されました。

主催は関西電力、かんでんエ

ルハート、大阪府社会福祉協議会などで構

成する実行委員会。5回目となる今年は

「ふれ愛びつく」のイベントとして位置づけられ、歌手のタケカワユキヒデさんら

を招き、例年にも増して盛大に開催されま

した。中でも感動を呼んだのが

数百人の参加者が一

緒に作ったコラボレー

ション・アート「空飛

ぶくじら」。フィナーレでは、この絵をバ

ックに全員が「ビュ

ーティフル・ネーム」

を大合唱し、ふれあいと感動の一

日を過ごしました。



情報コーナー

シルバーサービスフェア in 大阪 '97

福祉ボランティア活動に関心のある方
応募方法（問合せ先）／藤井寺市藤井寺一丁目36番
TEL 0729(55)4181
12/10より申込み受付け開始

主催／大阪府立高齢者保健所
主催＆問合せ／大阪YMCA日本語教育研究所
TEL 06(577)1456
FAX 06(577)1457

藤井寺市社会福祉協議会・羽曳野市社会福祉協議会・大阪府藤井寺保健所

「大阪発ゆどりと安心のじきいじきエイジレス社会」をテーマに「介護」から「健康」「生きがい」「住まい」にわたる幅広い分野の最新シルバーサービスについて、内外の有力企業等（13社・団体を予定）の商品やサービス・活動などを展示します。12月16日（火）にはシルバーサービス・シンポジウムを開催。「エイジレス社会におけるやさしい商品づくり」についての講演及び、「公的介護保険下におけるサービスの選択」についてのパネルディスカッションを行います（要申し込み）。また期間中、イベント広場での楽しい催しに加え、高齢者や障害者のためのファッショショーラ・シニアじきいき創作展も同時開催。

日 時／12月16日（火）～18（木）の3日間 10時～17時

場 所／マイドームおおさか
入 場／無料

主 催／財団法人 大阪府地域福祉推進財団
問合せ／TEL 06(942)50090
FAX 06(942)50090

日 時／12月17日（水）10時～16時

場 所／高槻市立鶴手公民館
住 所／高槻市安満北の町1
TEL 072-26(815)21110

申込締切／12/19（金）

主催＆申込先／大阪ジョン万の会
TEL 06(260)05597
FAX 06(260)3479

当会では草の根の文化交流を目指して活動しています。関西に滞在している外国人の方々と共に、日本の伝統的な年越しの準備を手作りで体験してみませんか。

日 時／12月27日（土）10時から16時

場 所／高槻市安満北の町1
住 所／高槻市安満北の町1
TEL 072-26(815)21110

参加費／無料
申込締切／12/19（金）

主催＆申込先／大阪ジョン万の会
TEL 06(260)05597
FAX 06(260)3479

阪神淡路大震災で被災した小学生兄弟を干

ルにした、文部省選定映画（78分）を上映しま

す。

日 時／98年1月17日（土）10時30分～14時～22時

場 所／障害福祉センター
TEL 06(841)9393

問合せ／豊中市社会福祉協議会
TEL 06(848)1000
FAX 06(841)2388

阪神淡路大震災で被災した小学生兄弟を干

ルにした、文部省選定映画（78分）を上映しま

す。

日 時／98年2月15日（日）10時～15時30分

場 所／アクア文化ホール・市民会館
TEL 06(848)1000
FAX 06(841)2388

阪神淡路大震災で被災した小学生兄弟を干

ルにした、文部省選定映画（78分）を上映しま

す。

日 時／98年2月21日（土）10時～15時30分

場 所／アクア文化ホール・市民会館
TEL 06(848)1000
FAX 06(841)2388

阪神淡路大震災で被災した小学生兄弟を干

ルにした、文部省選定映画（78分）を上映しま

す。

日 時／98年3月1日（日）10時～15時30分

場 所／アクア文化ホール・市民会館
TEL 06(848)1000
FAX 06(841)2388

阪神淡路大震災で被災した小学生兄弟を干

ルにした、文部省選定映画（78分）を上映しま

す。

日 時／98年3月15日（日）10時～15時30分

場 所／アクア文化ホール・市民会館
TEL 06(848)1000
FAX 06(841)2388

阪神淡路大震災で被災した小学生兄弟を干

ルにした、文部省選定映画（78分）を上映しま

す。

日 時／98年3月22日（日）10時～15時30分

場 所／アクア文化ホール・市民会館
TEL 06(848)1000
FAX 06(841)2388

阪神淡路大震災で被災した小学生兄弟を干

ルにした、文部省選定映画（78分）を上映しま

す。

日 時／98年3月29日（日）10時～15時30分

場 所／アクア文化ホール・市民会館
TEL 06(848)1000
FAX 06(841)2388

阪神淡路大震災で被災した小学生兄弟を干

ルにした、文部省選定映画（78分）を上映しま

す。

日 時／98年4月5日（日）10時～15時30分

場 所／アクア文化ホール・市民会館
TEL 06(848)1000
FAX 06(841)2388

阪神淡路大震災で被災した小学生兄弟を干

ルにした、文部省選定映画（78分）を上映しま

す。

日 時／98年4月12日（日）10時～15時30分

場 所／アクア文化ホール・市民会館
TEL 06(848)1000
FAX 06(841)2388

阪神淡路大震災で被災した小学生兄弟を干

ルにした、文部省選定映画（78分）を上映しま

す。

日 時／98年4月19日（日）10時～15時30分

場 所／アクア文化ホール・市民会館
TEL 06(848)1000
FAX 06(841)2388

阪神淡路大震災で被災した小学生兄弟を干

ルにした、文部省選定映画（78分）を上映しま

す。

日 時／98年4月26日（日）10時～15時30分

場 所／アクア文化ホール・市民会館
TEL 06(848)1000
FAX 06(841)2388

阪神淡路大震災で被災した小学生兄弟を干

ルにした、文部省選定映画（78分）を上映しま

す。

日 時／98年5月3日（日）10時～15時30分

場 所／アクア文化ホール・市民会館
TEL 06(848)1000
FAX 06(841)2388

阪神淡路大震災で被災した小学生兄弟を干

ルにした、文部省選定映画（78分）を上映しま

す。

日 時／98年5月10日（日）10時～15時30分

場 所／アクア文化ホール・市民会館
TEL 06(848)1000
FAX 06(841)2388

阪神淡路大震災で被災した小学生兄弟を干

ルにした、文部省選定映画（78分）を上映しま

す。

日 時／98年5月17日（日）10時～15時30分

場 所／アクア文化ホール・市民会館
TEL 06(848)1000
FAX 06(841)2388

阪神淡路大震災で被災した小学生兄弟を干

ルにした、文部省選定映画（78分）を上映しま

す。

日 時／98年5月24日（日）10時～15時30分

場 所／アクア文化ホール・市民会館
TEL 06(848)1000
FAX 06(841)2388

阪神淡路大震災で被災した小学生兄弟を干

ルにした、文部省選定映画（78分）を上映しま

す。

日 時／98年5月31日（日）10時～15時30分

場 所／アクア文化ホール・市民会館
TEL 06(848)1000
FAX 06(841)2388

阪神淡路大震災で被災した小学生兄弟を干

ルにした、文部省選定映画（78分）を上映しま

す。

日 時／98年6月7日（日）10時～15時30分

場 所／アクア文化ホール・市民会館
TEL 06(848)1000
FAX 06(841)2388

阪神淡路大震災で被災した小学生兄弟を干

ルにした、文部省選定映画（78分）を上映しま

す。

日 時／98年6月14日（日）10時～15時30分

場 所／アクア文化ホール・市民会館
TEL 06(848)1000
FAX 06(841)2388

阪神淡路大震災で被災した小学生兄弟を干

ルにした、文部省選定映画（78分）を上映しま

す。

日 時／98年6月21日（日）10時～15時30分

場 所／アクア文化ホール・市民会館
TEL 06(848)1000
FAX 06(841)2388

阪神淡路大震災で被災した小学生兄弟を干

ルにした、文部省選定映画（78分）を上映しま

す。

日 時／98年6月28日（日）10時～15時30分

場 所／アクア文化ホール・市民会館
TEL 06(848)1000
FAX 06(841)2388

阪神淡路大震災で被災した小学生兄弟を干

ルにした、文部省選定映画（78分）を上映しま

す。

日 時／98年7月5日（日）10時～15時30分

場 所／アクア文化ホール・市民会館
TEL 06(848)1000
FAX 06(841)2388

阪神淡路大震災で被災した小学生兄弟を干

ルにした、文部省選定映画（78分）を上映しま

す。

日 時／98年7月12日（日）10時～15時30分

場 所／アクア文化ホール・市民会館
TEL 06(848)1000
FAX 06(841)2388

阪神淡路大震災で被災した小学生兄弟を干

ルにした、文部省選定映画（78分）を上映しま

す。

日 時／98年7月19日（日）10時～15時30分

場 所／アクア文化ホール・市民会館
TEL 06(848)1000
FAX 06(841)2388

阪神淡路大震災で被災した小学生兄弟を干

ルにした、文部省選定映画（78分）を上映しま

す。

日 時／98年7月26日（日）10時～15時30分

場 所／アクア文化ホール・市民会館
TEL 06(848)1000
FAX 06(841)2388

阪神淡路大震災で被災した小学生兄弟を干

ルにした、文部省選定映画（78分）を上映しま

す。

日 時／98年8月2日（日）10時～15時30分

場 所／アクア文化ホール・市民会館
TEL 06(848)1000
FAX 06(841)2388

阪神淡路大震災で被災した小学生兄弟を干

ルにした、文部省選定映画（78分）を上映しま

す。

日 時／98年8月9日（日）10時～15時30分

場 所／アクア文化ホール・市民会館
TEL 06(848)1000
FAX 06(841)2388

阪神淡路大震災で被災した小学生兄弟を干

ルにした、文部省選定映画（78分）を上映しま

す。

日 時／98年8月16日（日）10時～15時30分

場 所／アクア文化ホール・市民会館
TEL 06(848)1000
FAX 06(841)2388

阪神淡路大震災で被災した小学生兄弟を干

ルにした、文部省選定映画（78分）を上映しま

す。

日 時／98年8月23日（日）10時～15時30分

場 所／アクア文化ホール・市民会館
TEL 06(848)1000
FAX 06(841)2388

阪神淡路大震災で被災した小学生兄弟を干

ルにした、文部省選定映画（78分）を上映しま

す。

日 時／98年8月30日（日）10時～15時30分

場 所／アクア文化ホール・市民会館
TEL 06(848)1000
FAX 06(841)2388

阪神淡路大震災で被災した小学生兄弟を干

ルにした、文部省選定映画（78分）を上映しま

す。

日 時／98年9月6日（日）10時～15時30分

場 所／アクア文化ホール・市民会館
TEL 06(848)1000
FAX 06(841)2388

阪神淡路大震災で被災した小学生兄弟を干

ルにした、文部省選定映画（78分）を上映しま

す。

日 時／98年9月13日（日）10時～15時30分

場 所／アクア文化ホール・市民会館
TEL 06(848)1000
FAX 06(841)2388

阪神淡路大震災で被災した小学生兄弟を干

ルにした、文部省選定映画（78分）を上映しま

す。

日 時／98年9月20日（日）10時～15時30分

場 所／アクア文化ホール・市民会

インターネットでアクセスできる! ボランティア情報満載のホームページを開設



ボランティアしたい人、求める人の出会いをコーディネート
府内のさまざまなボランティア情報を提供する「大阪ボランティア情報ネットワーク」が、平成10年1月12日にスタートします。

これは、大阪府内の福祉・環境保全・国際交流など各分野のボランティア活動推進機関の協力の下、大阪府ボランティアセンターがボランティア募集情報などを収集し、身近な情報サービス拠点をはじめ、インターネット、パソコン通信などで提供するものです。

この情報は、インターネットに接続できる環境があれば家庭からもアクセスできる他、各市町村ボランティアセンター等で情報提供しています。
府民のみなさまのアクセスをお待ちしています。

登録に関するご相談、お問い合わせは下記までお願いします。

大阪ボランティア情報ネットワーク

(事務局) 大阪府ボランティアセンター

〒542 大阪府中央区中寺1-1-54 大阪社会福祉指導センター内
社会福祉法人 大阪府社会福祉協議会 ボランティア振興課
TEL.06 (762) 9631 FAX.06 (762) 9679

